



## ■ スマイルBOX

佐野博己君

- ・ありがとうございました。 富澤静雄君
- ・結婚記念日のお祝いありがとうございます。  
31回目になりました。 大村和宏君
- ・誕生日のプレゼントありがとうございます。  
年末に子犬を飼い始めました。先に死ぬと犬  
がかawaiiそうなので長生きします。  
 瀧脇一啓君
- ・誕生プレゼントありがとうございます。  
54歳を迎えます。健康に留意して、よい1年  
にしたいと思います。 中山恵喜君

**スマイル累計額 448,890円**

## ■ 会員卓話

職業奉仕プロジェクト委員長 桑原茂君



こんにちは、  
職業奉仕プロ  
ジェクト委員  
会委員長の桑  
原茂です。  
今月が職業奉  
仕月間という  
ことで卓話を

させていただきます。本年度の当委員会の事業  
は、大きく2つあります。

一つ目は毎年恒例のロータリークラブ杯です。  
正式には『第22回藤枝南ロータリークラブ杯  
争奪U-10サッカー大会』です。我々藤枝南  
ロータリークラブが誇る青少年事業でありま  
す。私も今年度は担当委員長ですので、開会式  
閉会式と両日出席させていただきました。今年  
は19チームが参加し決戦を繰り広げてくれま  
した。子供たちの生の声を聞きこともできまし  
た。『藤枝MYFCのホームグラウンドで試合  
ができることがすごく嬉しい』やはり子供た  
ちにとって、特にサッカー少年にとっては夢の  
ような気持ちになってしまうようです。もちろ  
ん、スタンドから見守るご家族にとっても天然  
芝のこの大きなグラウンドでプレーしている我が  
子を見るのはとても思い出に残る光景だと思ひ  
ます。そんな素敵な思い出の演出を毎年続け  
ているのが、この大会です。

22年にも及ぶこの事業はやはり我々が誇れる  
事業だと再認識することができました。

また、両日フルで参加すると気づくところもあ  
りました。一つは、せっかく大きな電光掲示板  
があるのでそれを有効活用し試合の演出を盛り  
上げていくことができないか・・・

(準決勝、決勝戦は対戦チーム名をその掲示板  
に映してあげる)

(場内アナウンスで選手名を呼称してあげる)

(二日目は19チーム中4チームだけの参加に  
なってしまうので、サッカー教室を開催すると  
かの方法を使い、二日目もできるだけ多くの方  
に参加してもらおう)

来年からの参考にしていただけたらと思ひ  
ます。

事業二つ目は、第4グループの奉仕事業であり  
ます。本年度は『子ども食堂支援事業』を行  
いました。昨年9月13日には例会に子ども  
食堂の運営者であるNPO法人W.C.まつぼ  
っくりの前田りつ子様にお話をいただきました。  
また昨年9月26日には、藤枝社会福祉  
協議会さすみれにて、『お米寄贈式』を行い、2  
00キロ近くのお米を各運営関係者様に寄贈さ  
せていただきました。

そして、来る3月30日には最後の事業になり  
ます『いちご狩りIN藤枝』をジャパンベリー  
様にて開催する予定です。100名の子供たち  
を招いてたくさんのいちごを口いっぱい頬張  
ってもらいたいと考えております。ぜひメンバ  
ーの皆様も当日ご参加していただければ子供た  
ちのたくさんの笑顔を見ることができると思ひ  
ます。

以上本年度の奉仕プロジェクト委員会の活動報  
告です。

## 例会プログラム

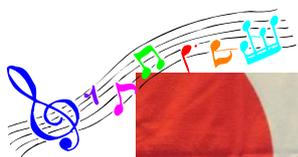
例会日	クラブ行事	摘要
1/24(金) 第1581回	外部卓話	小杉苑
1/31(金) 第1582回	会員卓話	小杉苑
2/3(月) 第1583回	節分例会	成田山新護寺
2/14(金) 第1584回	外部卓話	理事会

私の「行ったところ、行きたいところ」は与論島です。高校一年生の夏休み、生まれ故郷の鹿児島で過ごしていた私のところへ、静岡から同級生が訪ねてきました。彼は、沖縄に行く途中に立ち寄って「一緒に行かないか。」と声をかけてくれました。特段予定も無かった私は、とりあえず彼とともにフェリーで島伝いに沖縄に向かうことにしました。奄美大島で一泊し、翌日の便で徳之島を経由し、与論島に向かいました。私たちのフェリーは「クイーンコーラル」という七千トンの船でした。当時、与論の港は小さな船しか接岸できず、私たちは沖で、フェリーの船体側面にある乗降口から迎えに来た舳に飛び移って上陸しました。茶花港には多くの若者が、民宿の名前を書いたプラカードを掲げて出迎えにきていました。しかし、そのほとんどが民宿の従業員ではなく、長期滞在の宿泊者たちでした。彼らは、同宿の仲間を増やしたくて宿泊先が決まっていなかった人たちに声をかけていました。私たちも一泊二食二千五百円に誘われて南海荘という民宿にお世話になることにしました。昼間は宿の仲間と、干潮の時だけ現れる「百合が浜」に星砂を取りに行ったり、サンゴ礁でシュノーケリングしたりして過ごしました。日が暮れると満天の星空の浜辺で夜ごと宴会が開かれました。毎日が本当に楽しくて、気が付くと一週間たっていました。お金を使い果たしてしまい、沖縄に行くことはできませんでしたが、いまも心に残る素晴らしい夏の思い出です。東シナ海に沈むあの真っ赤な夕日をもう一度見に行きたいと思います。

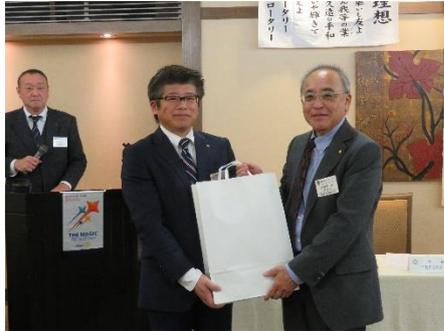
RLI 受講修了



ポールハリスフェロー



おめでとうございます！



(担当/杉山茂範君)